

企画展「時代をみつめた明治の画家 岡本常彦」 を開催します

岡本常彦は、文化13年(1816)に都窪郡水江村(現在の倉敷市水江)生まれ、京都で叔父の画家、岡本豊彦に師事しました。幕末から明治へと移る時代の動きを目撃し、明治24年(1891)に没するまで岡山などで活動したこの画家を、岡山市立中央図書館の所蔵品で紹介します。

1 日時

令和6年4月4日(木)～5月19日(日) 毎週月曜日休館(ただし4月29日、5月6日は開館)
開館時間 10時～18時(木曜日は11時～19時)

2 場所

岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール前 展示コーナー(北区二日市町) 入場無料

3 内容

・岡本常彦は幕末までおもに京都で活動し、岡本豊彦一門の画家として寺院の襖絵制作などに参加しました。この時期の当館の所蔵品には倉敷の商家、山川家の人々の肖像画 2 点がありますが、そのひとつは慶応 2 年(1866)に幕府が長州征討を行った際、長州藩の脱走兵が倉敷代官所などを襲撃した事件(倉敷浅尾騒動)で殉難した少年、山川正之を追悼して描いたものです。

・維新後の常彦は、明治 12 年(1879)の岡山城博覧会の錦絵を描きました。また、旧藩主・池田家の文書を編纂し岡山城や後楽園の保存にも努めた歴史家、木畑道夫と親交がありました。

・岡本常彦の作品 4 点に、関連する画家の作品や資料などを加えた約20点を展示します。

4 関連講座

令和6年4月14日(日) 14～16時 「岡山城の近代 廃城から史跡指定まで」

令和6年5月18日(土) 14～16時 「明治・大正・昭和の岡山の観光案内」

会場:岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール 先着60名(申込不要) 聴講無料

講師:飯島章仁(当館学芸副専門監)

【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・沖田 直通086-223-3373

おもな展示品



岡本常彦(画)
山川在久像
絹本、軸装



岡本常彦(画)
山川正之像
絹本、軸装



岡本常彦(原画)「岡山城博覧会之図」(明治12年) 木版多色刷



木畑道夫(著)、岡本常彦(原画)
「岡山後楽園真図」(明治22年)
木版単色刷